

病虫害発生予察情報

10月月報

令和元年 11月 18日
東京都病虫害防除所

1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2019年 10月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		平 年 比		平 年 比	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	(%)	本年	(%)
上旬	27.1	3.9	18.0	2.9	22.1	3.3	42.5	47	53.6	153
中旬	21.3	-0.7	15.9	2.8	18.4	1.1	377.5	752	12.2	27
下旬	20.4	0.4	12.4	1.9	16.5	1.5	180.5	386	39.2	72
平均	22.9	1.2	15.3	2.5	18.9	1.9				
合計							600.5	320	105.0	77

※ 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

※ 平年差（比）：平年値（1981～2010年の平均値）からの差（比）

上旬：高気圧と低気圧が交互に通過し、数日の周期で天気に変化した。期間を通して暖かい空気に覆われることが多く、気温はかなり高くなった。

中旬：低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多くなった。12日を中心に台風第19号の影響で暴風や大雨となり、広い範囲で河川の氾濫や土砂災害、浸水害が相次ぎ、人的被害や建物・ライフライン等への被害が発生した。

下旬：高気圧と低気圧が交互に通過し、数日の周期で天気に変化した。25日は本州南岸を発達しながら移動する低気圧に南から湿った空気が流れ込み、台風第21号による湿った空気の影響も受けて、大雨となった。

2 作物生育概況

(1) イネ

中旬には収穫がおおむね終了した。作柄は平年に比べ、やや不良であった。

(2) 野菜

果菜類：露地ナスは9月に台風による茎葉被害が見られたものの、生育は回復した。ハウス抑制キュウリはおおむね順調であった。

葉根菜類：キャベツは8月前半に定植したものは生育が順調であったが、8月後半定植では遅れが見られた。ブロッコリー、ダイコン、ニンジンの生育は順調であった。ネギは肥大不良、ハクサイは生育の遅れが見られた。

いも類：サトイモの生育は順調であった。秋作のジャガイモは肥大が遅れた。

(3) 果樹

農総研果樹圃場（灰色低地土）における主要品種の収穫期と平年差（カッコ内）は以下のとおり。

カキ：収穫始めは‘伊豆’、‘早秋’、‘甘秋’は平年並みで、‘太秋’は平年より6日早かった。

収穫終わりは‘甘秋’で平年並み、平年に比べて‘早秋’で2日、‘太秋’で15日早かった。‘伊豆’では5日遅かった。

‘伊豆’ 収穫始 10月9日（±0日） 収穫終 10月28日（+5日）

‘早秋’ 収穫始 10月2日（±0日） 収穫終 10月11日（-2日）

‘甘秋’ 収穫始 10月15日（+1日） 収穫終 10月28日（±0日）

‘太秋’ 収穫始 10月9日（-6日） 収穫終 10月17日（-15日）

ナシ：収穫終わりは‘新高’で平年より7日早かった。

‘新高’ 収穫終 10月2日（-7日）

3 病虫害の発生概況

(1) 野菜の病虫害

トマト（施設・促成長期どり）

葉かび・すすかび病	< 少 >	発生は少なかった。
オンシツコナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバココナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。

キュウリ（施設）

うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
べと病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

キャベツ・カリフラワー・ブロッコリー

黒腐病	< 並 >	発生は平年並であった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
オオタバコガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヨトウガ類	< 少 >	発生は少なかった。
アオムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。

コマツナ

白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ダイコン・ハクサイ

軟腐病	< 多 >	発生は多かった。
モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
ヤサイゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ハイマダラノメイガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

アブラナ科野菜共通

キスジノミハムシ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

ホウレンソウ

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
シロオビノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハコベハナバエ	< 少 >	発生は少なかった。

ネギ

黒斑病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
さび病	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

イチゴ

うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ	< 少 >	発生は少なかった。

野菜共通の病害虫

ハスモンヨトウ	< 並 >	発生は平年並であった。
オオタバコガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヤサイゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 花きの病害虫

シクラメン

ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
--------	-------	-----------

花き共通

灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。

(3) 島しょの病害虫

八丈島：サトイモ及びセルリーでヨトウムシ類、アシタバでマイマイ類の発生が多かった。
また、レモンの一部圃場においてサビダニ類及びハモグリガ類の発生が多かった。

4 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日*1	調査日*2	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
江東区	10月8日	11月12日	0	0
大田区	10月8日	11月12日	0	0
板橋区	10月10日	11月7日	0	0
新宿区	10月10日	11月7日	0	0
足立区	10月10日	11月7日	0	0
青梅市	10月10日	11月7日	0	0
八王子市	10月8日	11月7日	0	0
多摩市	10月8日	11月8日	0	0
国立市	10月10日	11月8日	0	0
東久留米市	10月10日	11月7日	0	0

*1：誘引剤の設置日 *2：誘殺数の調査日

注) ミカンコミバエ種群における発生確認調査の結果は下記のとおり
(植物防疫所ホームページ)

http://www.maff.go.jp/pps/j/introduction/domestic/dsinnyuu/attach/pdf/BD_Tokyo.pdf

病害虫防除所ホームページ

<http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/nourin/shoku/anzen/boujyo/>

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、
防除のポイントなどをお知らせしています。